

# 8部

3月 卒業者  
アンケートより

平成23年3月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。いただいた回答を一部抜粋しましたので、是非これからの学習・実習の参考にしてください。

「学習をしていて楽しかったこと」は p. 20に、「科目修了試験の対策方法」は p. 26に、「レポート学習についてのアドバイス」は p. 38に掲載されていますので、合わせてご覧ください。

■通信教育部での学習は、職場や家庭など日常生活で、どのような点で役立っているかについてご教示ください。

#### 【社会福祉学科】

- ・現在、福祉関係の職務に就いており、福祉に関する幅広い知識を得たことによって、福祉的アプローチの視点を身につけることができ、そのことで仕事の質・量共に厚みをもって職務にあたることができるようになった。
- ・洞察力が身につき、対応の各種の想定ができるようになりました。また、人の理解が深まりました。
- ・現在、特別老人ホームで働いており、現場で活かせる技術・知識が身に付いた。
- ・職場（介護職）での利用者さんへの援助において、特にコミュニケーションなどで役立っている。
- ・異業種から福祉分野への転職を目標とし、入学しました。専門的知識を身につけることで、それはやがて自信となり、転職もできたこと、また、知識を得たことで、職場で確実にステップアップを図れている。年齢に関係なく、目標を持って従事していくことができるものと確信している。
- ・会話における福祉分野への幅広さが余裕のある対応を生み、コミュニケーションもスムーズになっています。
- ・他人に対して、表面的な部分でのみ判断し、決めつけていた部分が多かったが、客観的にみることができるようになった。また「自己覚知」できるようになったことが、今後の生活においても人間関係においても、役立つと思う。
- ・学習前とは異なった視点で物事を考えることができるようになったと思う。また、時間の使い方に無駄がなくなったと思う。
- ・レポートを書き続けている間に文書が上手くなった。勉強を続けるにあたり、「締切」の存在が、勉強する姿勢を保ってくれた。
- ・今まで児童・高齢者分野の仕事をしていたが、障害者に携わる仕事に変わりました。そこで、今まで勉強していた知識、特に複雑な制度や各種資源への

理解がとても役立っています。

- ・日常生活において、視野が広がったと思う。職場においても、家庭においてもいろいろな角度から物事を考えられるようになった気がする。ゆえに、周囲とのコミュニケーションの取り方が上手になったのではないだろうか。
- ・家庭や職場での人間関係に発達心理学や社会心理学で学んだ、人間関係の思考の傾向や、特性などの知識が役立った。感情的になりがちな自分の性格を客観的にみて、自分を抑えることも可能になった。
- ・地域密着型の介護施設を勉強したことで、ケアマネージャーとして利用者のニーズに最も柔軟に対応することを説明ができ、サービスにつなげやすくなった。
- ・仕事が児童養護施設勤務なので、児童福祉関係ばかりではなく幅広い知識を持てるようになり、ほかの分野においても情報を確認したりするようになった。
- ・通信教育部入学と同時に、学費をパートで働くことによって得る方法をとったため、一日の時間を貴重なものと感じるようになった。(実習を控えてパート勤務を終了したが、4年間のスクーリングを含む、全ての費用を調達できた。)
- ・集中力が大いについた。
- ・以前は、3時間以上机に向かうことはなかったが、今はザラである。
- ・課題ノートにまとめたこと、現地域活動支援センターで仕事をしているため、あらゆる分野で多に役にたっています。履修した自閉症・発達障害関連科目は実践で必要な為、勉強させていただいてよかった。
- ・私は介護福祉士の学習をされている方に教える立場ですが、高齢者の分野で仕事をしてきました。しかし、障害者も含め、さまざまな分野のことを教えたり、医療のことも理解していかなければなりません。もっと学びたいと思い東北福祉大学での学びを選びました。この2年半で学んだことは、本当に私自身の身となり、血となって私を成長させてくれました。

### 【福祉心理学科】

- ・学校に勤めているが、子どもと接するときの声のかけ方など。
- ・私の職場は、病院で患者さん家族、そして共に働く病院の職員との人間関係は重要なポイントである。その時々に対応に学んだ心理学が役立っている。
- ・助産師なので、精神的に不安定になる人が沢山いて、そういう人たちと接しているので、カウンセリング等、非常に役立った。
- ・幅広い見地から物事を捉えることができるようになった。
- ・自分がこれから、生きていくための指針や、対人関係能力、子育てを含む生

活技術等々、様々なことを学ぶことができました。今後の人生が充実したものとなりそうです。

- ・病院という職場で患者さんやスタッフと関わる中で、人間がもともと持っている心理的な部分を考えることができるようになった。
- ・視野が広がり、心が広くなったことで、以前より、相手の気持ちを考えながら、話を聞けるようになったと思う。自分の考えに、偏りすぎず「いろいろな考えの人がいるんだ」と大きく捉えられるようになった。子育てスタッフとして、保育士として日々様々な親子と接する中で視点がより整理され多角的になり、多くの気づきをもたらしてくれた。社会の仕組みの中での自分の立ち位置や役割が明確化され、やりがいや自信につながったと思う。
- ・家庭生活で、高齢になっていく親への見方が整理され、生涯発達における自分の位置を認識することで、親たちを思いやることができ、一層近づくことができた。

■通信教育で得た知識・学んだことを今度どのようにいかしてみたいとお考えですか。

#### 【社会福祉学科】

- ・知識として学んだアプローチ法など知識だけにとどめず、実際の現場で実践していきたい。
- ・自己覚知を嫌というほどつきつけられ、より冷静に論理的に自分の思考傾向を見つめられるようになり、今後は相談業務に役立てたい。
- ・社会の改善。特に現行制度で足りていないものに取り組んでいきたいです。市には障害者自立支援協議会がまだありません。これから作っていくことになるので、今まで学んできたことを反映できるよう、微力ながら働き掛けていきたいと思います。
- ・人の心のケアを心掛けていきたい。
- ・今年は準備期間が不十分で社会福祉士資格受験ができず、卒業することを優先し、レポート作成に追われていたため、来年の一発合格を目標に勉学に励みたい。また、仕事上で知識を活かすだけでなく、数年後の大学院進学を新たな目標として専門性を追求したいと考えている。
- ・高齢者が多い地域に住んでいるので、高齢者の方々が敬老の日などといった、特別な日においてだけでなく、日常生活の延長線上において、もっと地域社会とかかわりを持つことができるように働きかけをしたいと思っている。
- ・将来は、通信教育部で学んだ福祉に関する知識など、習得した社会福祉士の資格を活かし、地域福祉の推進に貢献したいと考えている。

- ・今後、介護福祉士、ケアマネの資格を習得してみたい。
- ・今後の就職（転職や再就職）や自分の老後設計にいかしていきたい。

### 【福祉心理学科】

- ・臨床心理士にも興味があったが、助産師として約18年働いたことと心理学での学びを生かすためには、やはり助産学の方で大学院に進学し、助産うつや、妊娠・出産と虐待を研究し、学びを深めていきたいと思う。
- ・産業カウンセラーの受験資格を得たので、もう少し実技を身につけて受験しようと考えている。
- ・自分が親になったとき、子どもの反抗期などを素直に受け止められそう。
- ・子育てを終え、定年を迎えた後、残りの人生を若い人たちや悩む人たちのために、何らかの方法によって貢献していきたいと考えています。
- ・原発隣接区域からの避難者、あるいは放射能を心配する親子が暮らす場所でもあるので、何かしらの形で、通信教育で学んだことを活かして支援に関わっていきたいと思う。

### ■学習をして辛かったことはありましたか。

#### ①辛かった内容

- ・勤務先の業務と勉学の両立
- ・レポート課題をまとめられない時期が2～3回あった。こういうときは、資料を集めて、読んでもレポートが書きあがらず、嫌になり、レポート作成が中断した状態になり、気持ちを持ち直すのが難しかった。
- ・レポートが再提出になったときに書くことに行き詰ることがあった。実習に行くことが、連日だったので、身体的・精神的につらくなることがあった。
- ・評価が「不可」で戻ってくるとどうしたらいいのかわからなかった。
- ・入学1年目は予定通り学習が出来たが、2年目を迎える直前に震災があり、2ヶ月程学ぶ気力が失われたこと、再度学習を始めるまで気持ちの整理が必要だったこと。
- ・やっとレポートを作成したのに自分自身が納得できず没頭し、1からやり直したこと。

#### ②克服・対処した方法

- ・一日の中で勉学に当てることができる時間を少しでも確保できるように努めた。
- ・勉強することが仕事に活かせると信じること。
- ・取りかかる科目を変更したり、スクーリングに参加するなどした。
- ・新たな気持ちで課題を考え、参考文献を読み取り組んだ。

- ・レポートの課題を何度も読みなおし、理解する努力をした。担当の方と、お話をしながら自分の居場所を作りながら実習を行った。
- ・将来的に必ず役に立つと必死に思い込んだ。
- ・どうしてもわからないことは、大学の通信教育部事務室に電話やメールをしました。

### ③どうすれば対処・回避できたと思うか

- ・最低でも「再提出」とならないレポートとなったか、必ず提出前に自己チェックし、自信を持って提出する。
- ・学習の目的やメリットを具体的に明確にしておくべきだった。
- ・とにかく読み込む。学習の手引きは特に重要。
- ・事前計画は必ず目標を立て取り組むことが必要。計画通りに進まなかった場合は進まなかった時点で計画表を立て直し達成するまで取り組むことが大切。
- ・新聞や報告書のようなものは、意識して読み続けた。レポートを指定文字数内にまとめるのがなかなかできないで苦しんだ。どの点を重点にするか、何度も作成途中に読み直し、納得でいくまでやりなおした。
- ・無理してやらない。できるときに集中しておこなった。家族のバックアップ体制があったからこそ乗り越えられたと思う。

■実習中に特に苦勞したことがあれば、具体的内容にどのように克服されたかお書き下さい。併せて、どのようにすれば苦勞せずに済むと思われるかについてもお書き下さい。

#### ①苦勞されたこと

##### 【社会福祉援助技術実習】

- ・コミュニケーションが取りにくい、話そうとしない、といった利用者。
- ・日誌に1日2時間くらいかかりました。
- ・記録に時間がかかり、寝不足になったこと。後半になるにつれて慣れてきたようで、少し楽になりました。
- ・利用者のプライバシーの保護のために、記録を満足いく程閲覧することができないことから、個々の利用者の状況把握するのに時間を要した。
- ・することもなく放っておかれる時間が全体の4分の1はあったこと。

- ・利用者である児童の突然の感情の変化、拒否的言動、態度への対応。
- ・毎日の実習記録の作成、手書きで清書は大変だった。

### 【精神保健福祉実習】

- ・実習担当者さんとの認識のギャップ。一つの単語でも感じ方はそれぞれなので。
- ・実習生としての姿勢を大切にした。
- ・受け身で臨もうと努力した。
- ・広い視野で見て考える、感じとることができなかった。自分の欠点と向き合う未熟さを感じる実習にもなり、改めてそれを考える機会にもなった。
- ・利用者より、実習先のスタッフとのコミュニケーションの回り方の困難さを捉えたまま終えた実習でした。
- ・実習記録の書き方について戸惑うばかりだった。
- ・毎日の実習ノートの記録。
- ・毎日の目標をきちんと達成できなかった。

### 【介護実習】

- ・年末年始の10日間という時期、勉強にはなったが忙しかった。
- ・職員の数も少なく大変だった。実習生が自分だけということもあった。
- ・利用者さんのお世話をするにあたり、対応がわからない時に、質問をする、「見て学ぶように」と常に指導されて困った。

### 【障害児(者)教育実習】

- ・障害児教育の現場体験がなく、どのように動いていいかわからなかった。そして、どこに相談してよいのかもわからなかった。

## ②克服・対処した方法

### 【社会福祉援助技術実習】

- ・実習担当の方や指導者に相談し、少しずつ話しかけ、会話（自分の実習課題について話を聞く）していた。
- ・帰校日の先生方や仲間のアドバイスで全てを記録するのではなく、特に大切と思われる部分、また気付いたこと等を絞って記録した。
- ・利用者の方に苦手意識を持たずに、ご本人からできるだけ情報を得られるように、コミュニケーションを深めるように努力をした。
- ・実習指導の中で「放っておかれた時の時間をどう過ごすか」について話題になっていたため、覚悟ができていたことがよかった。資料・書籍で自習して

いた。

#### 【精神保健福祉援助実習】

- ・言われたことは翌日までに調べる。
- ・他の実習生の話を書くようにした。
- ・とにかく言われるまま実習（作業）を続けた。特講で学んだ技術を活かし、実習を前向きに行った。利用者とにかく話してみること。話してみれば何か成果を得られる。
- ・とにかく時間をかけるしかなかった。
- ・疑問や困ったことは、すぐに実習先の担当者に聞いた。

#### 【介護実習】

- ・介護実習事前指導のテキストを理解するまで読む。

### ③どうすれば対処、回避できたと思われるか

#### 【社会福祉援助技術実習】

- ・利用者（障害者）に関わるのが難しいと考えて接するのではなく、みんな同じ人間であると考えて接すればいいと思った。
- ・1～3年までは下地を作り、4年の実習に備える。
- ・慣れていくと記録が書きやすかったため、体験していく中で自分なりに、工夫をしていくことが大事だと思います、また、帰校日時等でアドバイスをいただけると良いと思います。
- ・事前準備はできるところまでしっかり行うことや相談員の方から話せるところまでいいので、疑問点や問題点や情報を聞き出すように努めた。
- ・実習先によっては、実習担当者が業務に専念しなければならないのは当然のことなので、そのような状況で何をするか準備すること。
- ・実習中、常に記録を意識しながら活動する。

#### 【精神保健福祉援助実習】

- ・人間として誠実に臨むことが一番に感じた。
- ・もっと勉強していれば良かったと思う、とにかく勉強不足もあった。
- ・最後までやり抜く努力を。また、授業や特講で受けたことやノートを見て振り返り活かしてみることが大切だろう。

#### 【介護実習】

- ・10日連続ではなく、土日を何週かに分けてだと、その間勉強もしやすい。



### 【障害児(者)教育実習】

- ・実習校では、ボランティア育成部を持っており、期間を決めて毎週土曜日、講義をしたり実習したりするシステムを知った。しかし、調布市、あきる野市と遠いところで、仕事を抜けられないので、参加はできなかった。しかし、近所の障害者福祉施設でボランティアを申し出れば、できたことなのかなど、現在は思っている。

◇以上、ご協力を御礼申し上げますとともに、卒業生の皆様の益々のご活躍・ご健闘を祈念いたします。